

一般社団法人 吹田市薬剤師会
会長 大森洋子

今回の操車場跡地に於ける健康まちづくりについて予防医療に重点を置き、健康寿命をのばして行こうというものでありますが、私共薬剤師会では、すでにはじめている事でありまして、それを如何にして充実させていくかが重要な課題であります。

- ① 急速な少子高齢化を迎え、多科受診される患者様のお薬の適正使用のため、お薬手帳の大切さ、そして1冊のお薬手帳にまとめ、住まいの近くのかかりつけ薬局を定め、どこで受取った処方箋もそのかかりつけ薬局に手帳と一緒にとお出し頂ける様努力しております。そのために当会ではお薬手帳カバー（これは保険証、診察券、血液の検査結果などすべてのものが収納出来、マジックでとめられる）を全薬局に100部ずつ配付いたしました。
- ② ご自分の病気の認識の低い患者様には自覚をお持ち頂く様努めて参ります。ex 糖尿病でHbA1cのご存知ない方 今池田保健所を中心に糖尿病連携クリニックと云う事業が行われており9/16~12/15の間糖尿の患者様にアンケートをお願いしているところであります。又、糖尿病の患者様に眼科、歯科、受診をおすすめするのも薬局薬剤師の大切な仕事であります。
- ③ 血圧計も大半の薬局には設置しているのでデータを見て内科受診をすすめる患者様も多い
- ④ 健康を自負されている患者様が一般用医薬品を買いに来られた時などに、健康診断は受けておられますか？の一声をかける。
- ⑤ 喫煙に対して、禁煙を呼びかけ、飲酒に関しても、のみ過ぎをひかえて頂く様努力している（健康な人の肺、喫煙者の肺の写真など見せる）
- ⑥ 年令に応じ、体を動かす事の大切さについても話していく。
- ⑦ 年2回位、健康すこやか講演会（市民参加型）を専門の先生をおまねきして色々な分野でお話をしている。（如何に健康を維持していくためには）

町の薬局は市民の方々の最も身近なところにありそして、気軽にご相談頂ける最適な場所であると思いますので、その役割は大きいと考えています。